



日本家族看護学会

Japanese Association for Research in Family Nursing

International Exchanges Committee

Newsletter - February 2023 Vol. 6

■ 委員会だより

(1) 2023 年度 Small group メンバーの募集について

国際交流委員会では 2023 年度より、新規の Small group メンバーを募集いたします。Small group は、家族看護に関する実践や研究を英語で海外へ発信するための活動を行う少人数の group です。家族看護に関わる実践家や研究者が集まって各グループで意見交換や交流を行います。この活動は国際交流委員も参画してサポートいたします。昨年度の Small group の活動は次の項でご紹介しておりますので、興味がある方はぜひ参加をご検討ください。

第 1 回ミーティング (Zoom) は 5 月に開催予定で、参加者募集の詳細につきましては後日改めてご案内いたします。

■ 活動紹介

(1) 2022 年度 Small group メンバーの活動について

昨年 4 月から活動している Small group では現在文献レビューグループと事例研究グループに分かれて活動しています。

1) 文献レビューグループ

文献レビューグループでは、4 名ずつ 2 つの小グループに分かれて活動しています。各小グループでは、メンバー間で頻りに連絡を取り合いながら文献レビューのテーマ設定、方法の検討、文献抽出、分析を進めてきました。また、定期的にオンラインミーティングを開催して、意見交換と進捗確認を行っています。2023 年 6 月に開催される国際家族看護学会第 16 回学術集会 (16th International Family Nursing Conference; IFNC16) では、各小グループが以下のポスター発表を行う予定です。

グループ① Assessing and Addressing Parents-Children Family Functioning in Japan: A Scoping Review

グループ② Surrogate decision-making among Japanese families: A scoping review

国際学会での発表へ向けて緊張が高まりながらも、メンバーと協力することでモチベーションを高め、一丸となって鋭意準備を進めております。

2) 事例研究グループ

事例研究グループは 7 名で活動しています。2~3 週間ごとにオンラインミーティングを開催して、在宅で療養されている高齢者家族を支える家族看護の技の言語化に取り組んでいます。IFNC16 では第 2 期募集で抄録を登録しました。日本の家族看護を世界に発信するために採択されることを願いながら、引き続き事例研究を進めていきます。

■ 世界の車窓から

(1) IFNA とのコラボレーション企画について

国際家族看護学会 (International Family Nursing Association; IFNA) と日本家族看護学会とのコラボレーション企画として Interactive Workshop (オンラインによる交流会) が 2022 年 10 月 13 日 (木)、11 月 17 日 (木) の 2 回に渡って開催されました。この企画では、日米の高齢者介護家族の現状を共有し、ヘルスケアシステムや家族看護実践についてディスカッションすることを目的としており、参加者は事前に日米の高齢者とその家族、家族看護実践についてのレクチャーをオンライン受講しました。日本家族看護学会からは深堀浩樹氏と目麻里子氏の 2 名が講師として参加され、一方でアメリカにおける現状については Joel G. Anderson 氏が講師としてレクチャーされました。

1 回目交流会では日本から 11 名、海外から 6 名 (アメリカ、スイス、英国)、2 回目は日本から 14 名、海外からは同じく 6 名 (アメリカ、スイス、英国) の方が参加されました。交流会ではそれぞれグループディスカッションと全体でのセッションにおいて参加者間の積極的な交流が行われ、盛況のうち終了いたしました。

国際交流委員会メンバー :

● 委員長 : 本田順子

● 委員 : 相墨生恵、島田なつき、中口尚始、新家一輝、森崎真由美、山口智治